

## <保護者アンケートの結果に関する考察>

○全体的な評価は、毎年、概ね高い。

○「学習指導（授業参観の様子や、お子様の様子を通して）」については、少しポイントが上がっている。

○「学校は、学習指導方法を工夫し、学力向上に取り組んでいる」の項目、「学校は、一人ひとりの児童を大切に指導し、児童が努力したことを認めている」の項目、「あなたのお子様は、運動会や遠足などの学校行事に生き生きと取り組んでいる」の項目は、いずれも肯定的評価が全て100%であった。今後も、児童の健やかな成長を保障する教育活動を地域や保護者と協力して進めていきたい。

○「あなたのお子様は、家庭学習の習慣が付いている」の項目では、昨年度の評価に比べて肯定的評価が4ポイント向上している。

△「あなたのお子様は、家庭学習の習慣が付いている」の項目では、昨年度の評価に比べて肯定的評価が4ポイント向上しているものの、まだ76%の肯定的評価である。家庭学習の習慣が付いていないと感じている保護者が24%となっている。今後とも、宿題や自主勉強ノートについての見本を示すなど様々な方法を取り入れながら、引き続き家庭学習の習慣が身につくよう指導を模索していきたい。

△「あなたのお子様は、学校の様子（学習のことや友だちのこと）についてよく話をする」項目では、会話が十分でないと感じている保護者が14%となっている。良いことも悪いことも何でも話す習慣が、いじめや悩み事・困り事の早期発見にもつながるので、学校としての指導も工夫していく必要がある。

△「PTA会議で決まったことは具体的に書面や学年で集まる時に伝えたほうが良いと思う。本部のみしか知らない話も多いと思います。本部役員はどんなことをしているか、活動内容とかも伝えたら、今後の役員を決める時に役立つのでは？」と思います。実際内容を知らない人も多いと思いますので。」という自由記述があった。学校行事やPTA活動について、もう少し情報を伝えるよう改善していきたい。

△「元気よく挨拶ができる」は昨年度より評価が低くなっている。挨拶はコミュニケーションの基本であり、一日を気分良くスタートするためにも大切である。様々な機会を捉えて指導を続けていきたい。

△「以前、登下校中に危ない場所はないかというアンケートがあり、かなり危険な所があったので答えましたが、現在も変わっていません。事故が起こってからでは遅いので、学校だけで難しいなら、町と連携して対処して頂きたいと思います。」という自由記述があった。毎年、通学路の危険場所を報告し、勝浦町、勝浦町教育委員会、小松島警察、町内各学校が集まり「勝浦町交通安全対策会議」において話し合い、学校から強く要望している。しかし、地理的条件や地域住民（地権者）の反対、予算の関係でなかなか要望は通らない。事故が起こってしまってからでは遅いので、今後とも、児童の安全確保を最優先するよう要望を続けていく。